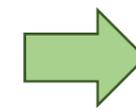


平成32年度こまき巡回バス再編について（現行の課題・再編方針に係る中間報告）

資料2-1

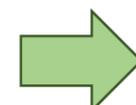
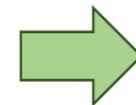
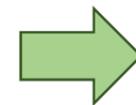
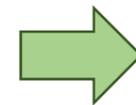
運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通空白地域の解消 ●公共施設の利用促進 	平成27・28年再編における基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●約1時間に1本程度の運行頻度 ●半径500mを利用圏域としてバス停を設置
------	--	--------------------	--



維持

現行の課題

ルート課題	1	小牧駅～小牧市役所間は、全ての幹線系路線の車両（11台）が1時間程度につき1往復しており、バスが重なっていたり、一方で運行のない空白の時間帯が存在する
	2	【18】北部東部右まわりコース、【19】北部東部左まわりコースは、一周約2時間のルートとなっており、遅延の解消が図りづらいうえ、長時間運転による運転手の負担も大きくなっている
	3	【11】西部右まわりコース、【12】西部左まわりコース、【52】河内屋・横内コースが運行する国道41号を跨ぐ国道155号の高架道路は、冬季の凍結による通行止めが発生し、それに伴う渋滞により大幅な遅延が頻繁に発生している
	4	【11】西部右まわりコース、【12】西部左まわりコース、【17】小牧・味噌中コースは、他の幹線系路線と比較して利用者数、乗車密度が低くなっている
車両課題	1	ワンボックス車両で運行する【51】三ツ瀨・舟津コース、【52】河内屋・横内コース、【53】春日寺・間内コース、【54】多気・小針コースにおいて、積み残しが発生している
	2	現行の道路運送車両保安基準では、立席を有しない車両は横向き座席が禁止されており、現在使用するワンボックス車両（車いす対応）は生産中止されている
ダイヤ課題	1	平日と休日を同一ダイヤとしているが、平日と休日は交通状況が大きく異なるため、平日は遅延が多く発生し、休日はバス停での待ち時間が多く発生している
運賃課題	1	運行経費に対し料金収入が著しく少なく、持続可能な料金体系とすべきとの声が多い



課題に対する対応策（再編方針）

ルート対応策	1	小牧駅～小牧市役所間をピストン運行するコースを新設することでダイヤを平準化・定時化し、可能な限りバスが連なる運行の解消を図り、併せて乗り継ぎ地点でのバス待合環境の改善を図る
	2	全てのルートにおいて、 <u>1便あたり最大1時間程度のルート</u> とし、遅延に伴うダイヤへの影響の低減や運転手の負担の軽減を図る
	3	<u>国道41号を跨ぐ国道155号の高架道路は通行しないルート</u> とし、大幅な遅延の発生を防止し定時性の確保を図る
	4	<u>行き先や乗り継ぎを考慮したルート</u> とし、市内全域で改めて見直すことで利用率の向上を図る
車両対応策	1	支線系路線においても、 <u>ワンボックス車両の使用を廃止</u> し、現在幹線系路線で使用しているの35人乗り小型ノンステップバスより全長が短い28人乗り小型ノンステップバスを導入し、積み残しや車両更新に対応を図る
ダイヤ対応策	1	<u>平日と休日のダイヤをそれぞれ設定</u> し、平日の遅延の発生頻度の低減や、休日のバス停での待ち時間の発生を低減を図る
運賃対応策	1	望ましい運賃のあり方を速やかに検討し、次回の会議で方針を示す

「平成30年9月実施アンケート・OD調査実施結果」

<p>【市民アンケート】</p> <p>対象：15歳以上の市民3,000人を無作為抽出 方法：郵送方法による配布・回収 時期：平成30年9月7日～21日 回収数：1,479票（49.3%）</p>	<p>【利用者アンケート】</p> <p>対象：こまき巡回バス利用者 方法：調査員による配布・郵送方法による回収 時期：平成30年9月18日(火)、21日(金)、23日(日) 配布数：2,019票 回収数：905票（44.8%）</p>	<p>【OD調査】</p> <p>対象：こまき巡回バス利用者 方法：調査員による配布・回収 時期：平成30年9月18日(火)、21日(金)、23日(日) 回収数：6,086票</p>
--	---	---